

氏名

■ 関数の増減表・極大値と極小値

※注  $y$  と  $f(x)$  は同じものだと思ってよい。

同様に  $y'$  と  $f'(x)$  は同じものだと思ってよい。

$y' > 0$  のときは 傾き  $> 0$  なので、 $y$  のグラフは右上がりになる。

$y' < 0$  のときは 傾き  $< 0$  なので、 $y$  のグラフは右下がりになる。

だから  $y'$  を計算して「右上がり/右下がり」を調べればグラフを描くことができる。

例題 1  $y = x^3 - 3x^2 + 4$  の増減表をつくりグラフを描きなさい。

解 微分すると  $y' = 3x^2 - 6x$  となる。 $y' = 0$  を計算すると

$$3x^2 - 6x = 0$$

$$3x(x - 2) = 0$$

$$x = 0, 2$$

$x$	...	0	...	2	...
$y'$		0		0	
$y$					

$x < 0$ ,  $0 < x < 2$ ,  $2 < x$  のとき  $y'$  が +, - どちらになるか調べると

[ 例えば  $x < 0$  ならば  $x = -1$  を  $y'$  に代入して +, - どちらになるか調べる。  
 $0 < x < 2$  ならば  $x = 1$  を  $y'$  に代入して +, - どちらになるか調べる。  
 $x < 0$  のときは + で、 $0 < x < 2$  のときは - で、 $2 < x$  のときは + になるので ]

$x$	...	0	...	2	...
$y'$	+	0	-	0	+
$y$					

$y'$  が + のときは  $y$  のグラフは右上がり、 $y'$  が - のときは  $y$  のグラフは右下がりなので

$x$	...	0	...	2	...
$y'$	+	0	-	0	+
$y$		↗		↘	↗

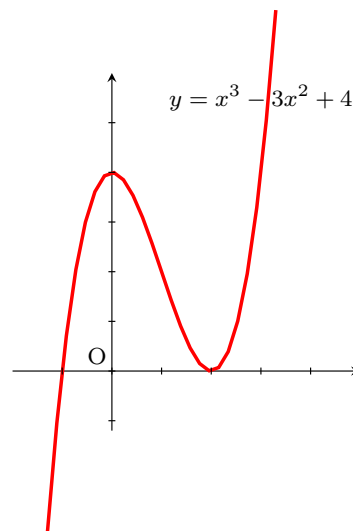
$x = 0, 2$  のときの  $y$  の値を計算すると

$$y = 0^3 - 3 \times 0^2 + 4 = 4$$

$$y = 2^3 - 3 \times 2^2 + 4 = 0 \text{ となるので}$$

$x$	...	0	...	2	...	
$y'$	+	0	-	0	+	
$y$		↗	4	↘	0	↗

よってグラフは



グラフを描いたとき、山のてっぺんを極大、谷底を極小という。そのときの値を極大値、極小値という。

1 次の関数の増減表をつくりグラフを描きなさい。

(1)  $y = x^3 - 3x$

(2)  $y = -x^3 - 3x^2 + 4$

(3)  $y = x^3 - 3$

(4)  $y = -x^3 + 12x + 1$

(5)  $y = -2x^3 + 9x^2 - 12x$

氏名 \_\_\_\_\_

■ 関数の増減表・極大値と極小値

※注  $y$  と  $f(x)$  は同じものだと思ってよい。

同様に  $y'$  と  $f'(x)$  は同じものだと思ってよい。

$y' > 0$  のときは 傾き  $> 0$  なので、 $y$  のグラフは右上がりになる。

$y' < 0$  のときは 傾き  $< 0$  なので、 $y$  のグラフは右下がりになる。

だから  $y'$  を計算して「右上がり/右下がり」を調べればグラフを描くことができる。

例題1  $y = x^3 - 3x^2 + 4$  の増減表をつくりグラフを描きなさい。

解 微分すると  $y' = 3x^2 - 6x$  となる。 $y' = 0$  を計算すると

$$3x^2 - 6x = 0$$

$$3x(x - 2) = 0$$

$$x = 0, 2$$

$x < 0$ ,  $0 < x < 2$ ,  $2 < x$  のとき  $y'$  が +, - どちらになるか調べると

例えば  $x < 0$  ならば  $x = -1$  を  $y'$  に代入して+, - どちらになるか調べる。

$0 < x < 2$  ならば  $x = 1$  を  $y'$  に代入して+, - どちらになるか調べる。

$x < 0$  のときは+で、 $0 < x < 2$  のときは-で、 $2 < x$  のときは+になるので

$x$	...	0	...	2	...
$y'$	+	0	-	0	+
$y$					

$y'$  が+のときは  $y$  のグラフは右上がり、 $y'$  が-のときは  $y$  のグラフは右下がりなので

$x$	...	0	...	2	...
$y'$	+	0	-	0	+
$y$	↗		↘		↗

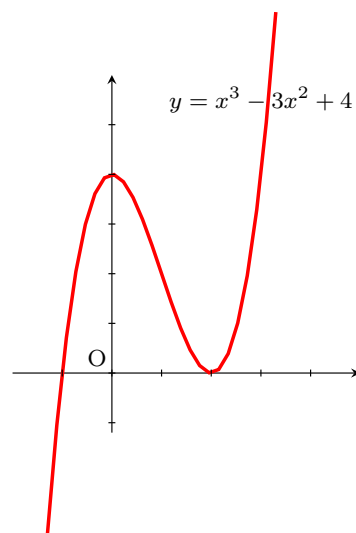
$x = 0, 2$  のときの  $y$  の値を計算すると

$$y = 0^3 - 3 \times 0^2 + 4 = 4$$

$$y = 2^3 - 3 \times 2^2 + 4 = 0 \text{ となるので}$$

$x$	...	0	...	2	...
$y'$	+	0	-	0	+
$y$	↗	4	↘	0	↗

よってグラフは



グラフを描いたとき、山のてっぺんを極大、谷底を極小という。そのときの値を極大値、極小値という。

1 次の関数の増減表をつくりグラフを描きなさい。

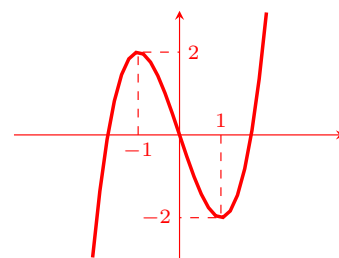
(1)  $y = x^3 - 3x$

$y' = 3x^2 - 3$  なので  $y' = 0$  の解は

因数分解して  $3(x^2 - 1) = 3(x + 1)(x - 1) = 0$

だから  $x = -1, 1$  になる

$x$	...	-1	...	1	...
$y'$	+	0	-	0	+
$y$	↗	極大 2	↘	極小 -2	↗

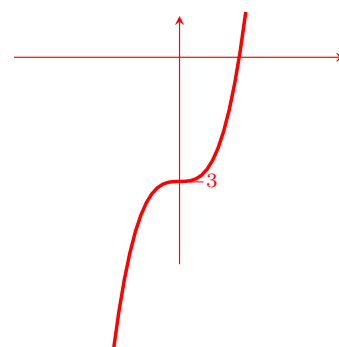


(3)  $y = x^3 - 3$

$y' = 3x^2$  なので  $y' = 0$  の解は

$3x^2 = 0$  を解いて  $x = 0$  になる

$x$	...	0	...
$y'$	+	0	+
$y$	↗	-3	↗



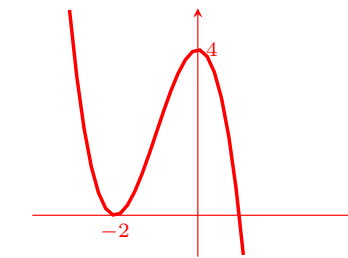
(2)  $y = -x^3 - 3x^2 + 4$

$y' = -3x^2 - 6x$  なので  $y' = 0$  の解は

$-3x$  でくくって  $-3x(x + 2) = 0$  だから

$x = 0, -2$  になる

$x$	...	-2	...	0	...
$y'$	-	0	+	0	-
$y$	↘	極小 0	↗	極大 4	↘



(4)  $y = -x^3 + 12x + 1$

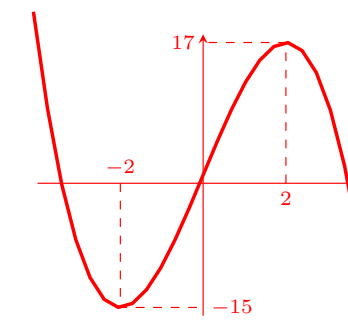
$y' = -3x^2 + 12$  なので  $y' = 0$  の解は

因数分解して

$-3(x^2 - 4) = -3(x + 2)(x - 2) = 0$  だから

$x = -2, 2$  になる

$x$	...	-2	...	2	...
$y'$	-	0	+	0	-
$y$	↘	極小 -15	↗	極大 17	↘



(5)  $y = -2x^3 + 9x^2 - 12x$

$y' = -6x^2 + 18x - 12$  なので

$y' = 0$  の解は因数分解して

$$-6(x^2 - 3x + 2) = -6(x - 1)(x - 2) = 0$$

だから  $x = 1, 2$  になる

$x$	...	1	...	2	...
$y'$	-	0	+	0	-
$y$	↘	極小 -5	↗	極大 -4	↘

